

第23回 ちゅうでん教育振興助成（2023年度）

小・中学校の部 報告書資料

学校名・団体名	御船町立七滝中央小学校
コース	学校支援コース
活動・研究のテーマ	地域を誇りに思い、地域に笑顔・元気・感謝を伝える七滝中央っ子

〈活動・研究の意義および活動報告〉

1 活動・研究の意義

(1) ねらい

- ① 総合的な学習の時間等で、伝統文化を継承し、地域行事に参加したり、地域の人々と交流したりするなどの活動を通して、郷土を見直し、郷土のよさにふれ、自分の郷土を守っていこうとする主体性のある児童を育成する。
- ② コミュニティ・スクールと関連させて地域と連携した取組を工夫することで、地域の一員としての自覚を高め、地域に笑顔・元気・感謝を伝える児童を育成する。

(2) 活動の特色

統合したそれぞれの学校に残る伝統芸能を継承し、地域の祭りなどで披露し、過疎化する地域に笑顔・元気を伝える。また、郷土の歴史、伝統等を調べることで、郷土に誇りをもつ児童を育てる。地域に積極的に関わる活動を行い、自分が地域の一員として必要とされていることを自覚し、自己有用感・自尊感情の醸成につなぐ。

2 活動報告

(1) 各学年伝統芸能の継承

① 第3学年 獅子舞

3年生は総合的な学習の時間「わたしたちの獅子舞を受け継ごう」という学習に取り組んでいる。獅子舞は、田代西部小で引き継がれてきた伝統芸能である。実際に田代西部地区を回りながら、獅子舞に取り組んできた地域の方の話聞くことができた。地域の調べ学習後、獅子舞の練習に取り組んだ。獅子舞は、4年生が3年生に指導した。また、学習応援団に来ていただいた浅間地区の方々にアドバイスをいただき、10月29日の「美緑のむら里祭り」で地域の方々に披露した。対外的に獅子舞を舞うのは初めての経験だったが、子供たちは堂々と発表することができた。地域の方々も大変喜んでいただいた。



獅子舞について聞き取り



美緑のむら里祭りで獅子舞披露

② 第4学年 寅舞

寅舞は、上野小学校で取り組まれてきた伝統芸能で、4年生で取り組んでいる。4年生は、総合的な学習の時間「守りたい地域の宝」で、上野地区の井手について見学し、水の大切さについて考えた後、寅舞について調べた。寅舞について、寅舞保存会の方々に寅舞が始まったわけなど説明していただき、寅舞の練習を続けた。寅舞保存会の方々に指導していただいた。

本年度は、上野地区の祭りが中止になったので、寅舞保存会の方々と熊本県人権教育研究会でステージ発表をした。子供たちは堂々と寅舞を披露した。参観者から地域の伝統を守る子供たちの姿に、大変感動していただいた。



保存会の方の指導を受けた練習



県の大会で保存会の方と寅舞共演



寅舞の発祥の地を探検

③ 第5学年 能寛太鼓

能寛太鼓は、七滝中央小で作られたもので、6年生と倉本先生に指導していただいている。5年生は、初めての太鼓の演奏ということで姿勢、バチの持ち方など太鼓の基礎から練習をした。11月26日の「七滝ふるさと元気祭り」で地域の方々に披露した。アンコールもあり、5年生の演奏で地域の方に笑顔を届けた。



七滝ふるさと元気祭りで能寛太鼓披露

④ 第6学年 新風太鼓「響」

6年生は、田代西部小で取り組まれていた新風太鼓「響」を演奏している。新風太鼓「響」がなぜ取り組まれたのかなど、太鼓にこめられた思いを学習し、倉本先生に指導していただいた。5月14日「七滝祭り」、10月29日「美緑のむら里祭り」、11月23日「宮部兄弟慰霊祭」で、新風太鼓「響」を披露した。堂々と演奏する6年生の太鼓に、地域の方からいつも拍手喝采で地域に笑顔と感謝を伝えることができた。



宮部兄弟慰霊祭で新風太鼓「響」披露

(2) 地域と連携した教育活動の推進

① 体験活動

活動	学年	主な体験内容
芋植え・芋掘り	1年	芋植え（5月）保育園と一緒に芋掘り（11月）
梅ちぎり・梅ジュースづくり	2.3年	地域の方と梅ちぎり・梅ジュースづくり（5月）
お茶摘み・茶もみ体験	3.4年	お茶摘みをして、お茶を煎る（5月）
玉ネギほり・玉ネギ植え	1～3年	南田代地区の方と玉ネギほり（5月）玉ネギ植え（12月）
米作りに挑戦	5年	田植え（6月）稲刈り（10月）収穫祭（1月）地域の方と実施



お茶つみ・茶もみ体験



梅ちぎり



玉ネギほり



収穫祭（わくわく餅つき大会）

② 学習応援の活用

学習応援団編成のねらいは3点ある、①地域人材の掘り起こし、②地域が身近に感じる学校づくり、③学校総体としての地域教育力の積極的な活用である。年間計画を作成しただけでは、地域教育力の積極的な活用は促進されない。学習応援団の組織を編成したことで、確実な人材の確保、学校教育活動への地域の理解・協力の推進、学校総体としての地域教育力の活用につながっている。本年度も各学年3回活用した。



昔の道具の説明

3 成果

- 本校児童の課題であった自尊感情、自己有用感が3学期アンケートの結果で高まっている。地域の方々の温かい見守り、励まし等も大きな自信になっている。
- 「この学校でよかった」と答えた児童（4年以上）は100%である。また、地域が好き、地域の伝統を守りたいという気持ちも高まっている。
- 地域の方も、「学校は地域と連携している」と100%の方が答えてくださっている。学習発表会は、多くの方が来校され、児童の姿に涙ぐまれる方もいた。
- 地域に笑顔・元気・感謝を伝える活動が年間を通じて取り組むことができた。